

一般社団法人

日本看護研究学会 第48回学術集会

実践と研究の往還で紡ぐ
—— 看護の知

講演集

会期 2022年 8月27日^土・28日^日

会場 松山市総合コミュニティセンター
ハイブリッド開催

学術集会
会長 中西 純子
愛媛県立医療技術大学 保健科学部

一般社団法人

日本看護研究学会

第48回学術集会

講演集

実践と研究の往還で紡ぐ^{つむ}
—— 看護の知

会 期

2022年 8月27日^土・28日^日

会 場

松山市総合コミュニティセンター
ハイブリッド開催

学術集会会長

中西 純子

愛媛県立医療技術大学 保健科学部

学術集会事務局：愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科 内
〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地

運 営 事 務 局：株式会社 歳時記屋

〒780-0072 高知県高知市杉井流19番2号
TEL：088-882-0333 FAX：088-882-0322

一般社団法人日本看護研究学会 第48回学術集会

ごあいさつ

一般社団法人日本看護研究学会 第48回学術集会

会長 中西 純子

愛媛県立医療技術大学 保健科学部 教授

一般社団法人日本看護研究学会第48回は、2022年8月27日(土)・28日(日)の2日間にわたり、松山市総合コミュニティセンターにおいて、現地開催とオンライン配信を併用するハイブリッド形式で開催させていただくこととしました。

長引くコロナ禍により、開催方法がなかなか確定せず、ご参加予定の皆様にはご心配いただいたことと存じます。第46回・47回の学術集会は完全 WEB 開催でしたので、ハイブリッド形式での開催は初めてとなります。開催にあたり、試行錯誤しながらの準備で行き届かない点が数々あると思いますが、どうかご容赦願います。今後はコロナ禍でなくとも、学会の在り方も変わってくると思われますので、今回の学術集会が良くも悪くも今後の参考になれば幸いです。

さて、第48回学術集会は、「実践と研究の往還で紡ぐー看護の知」をメインテーマに、愛媛の特産物でもある今治タオルや水引細工が1本1本の糸や紐から紡がれて素晴らしい作品を生み出すように、“実践と研究が往還するなかで看護の知を紡いでいき、紡いだその知を人々に届ける”そんな思いを込め、プログラムを企画致しました。

特別講演では松山市立子規記念博物館総館長の竹田美喜氏から「子規・病牀六尺の世界とチーム・ケア」と題してご講演をいただきます。子規は晩年、六尺の病牀さえ広すぎると感じるほどに、身動きならない激烈な病状にありました。そんな病牀において、子規はどう生きたのか、家族や弟子、友人たちはどう支えたのか、コロナ禍を生きる今の私たちがそこから学ぶことがあると期待しています。

教育講演では看護学においてニーズの高い研究方法に関する講演を3題、その他に、他の学問分野における事例や症例の意義・価値について学び、実践と研究の往還について考えるシンポジウム、愛媛の地で看護の知を使って活躍している3人の実践家によるリレートーク等を企画しております。

皆様からは一般演題の口演74題、示説119題、交流集会10題、委員会企画5題、共催セミナー1題の登録をいただきました。示説と一部の交流集会・委員会企画以外は、現地とWEBと両方の参加が可能と致しましたので、開催時間が重なっている企画につきましても、後日、ゆっくりとWEBで視聴していただくことが可能です。是非、すべての企画を堪能していただければと思います。

また、社会貢献活動として、市民公開講座及び次世代の看護を担う若者に看護のことをより広く知っていただくための中学生向け企画「Nursing talk & talk」を用意致しました。これを機に広く地元愛媛県民にも本学会の活動ならびに看護について知っていただく機会にしたいと考えております。

さらに、愛媛発祥の素晴らしい文化や取り組みについても紹介できればと考え、そのひとつとして、愛媛県立三島高等学校書道部の皆さんによる「書道パフォーマンス」を予定しております。迫力ある高校生の熱演をご覧ください。

本学術集会が、看護のさらなる発展に向けて皆様とともに考える機会になることを願っております。

ご来場の皆様へお願いとご注意

～現地開催に伴う感染防止対策について～

■新型コロナウイルス等感染症予防及び拡散防止対策について

日本国内における新型コロナウイルス感染症の発生に関しまして、本学会では、政府、自治体、関係機関等から示される正確な情報の収集に努めるとともに、以下のとおり、感染拡大の防止に細心の注意を払い、運営して参ります。

会場にお越しいただく皆様には、体調管理、手洗いやうがい、マスクの着用など感染防止対策へのご協力をいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

1. 本学会での感染防止対策

- ・密集防止（来場者の整理・誘導や室内レイアウト）
- ・収容人数のコントロール
- ・参加者、運営スタッフ等を含む来場者の健康チェックの徹底と体調不良者の入場制限
- ・出入口にサーマルカメラ設置
- ・各講演会場等の換気
- ・施設内の消毒
- ・座長席、演台、受付等の飛沫防止アクリルパネル設置
- ・館内に手指消毒剤・除菌シートの設置
- ・参加者、運営スタッフ、関係者のマスク着用
- ・館内で飲食時には黙食の徹底
- ・出展社に対する感染拡大防止策の徹底

2. 来場される方へ健康チェックのお願い

以下の内容をチェックし、ひとつでも該当する場合は、来場をお断りします。
オンライン配信での参加をお願いします。

- ① 37.0℃以上の発熱がある
- ② 咳、咽頭痛、倦怠感、息苦しさがある
- ③ 嗅覚障害や味覚異常がある
- ④ 同居家族に上記①～③の症状がある
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性者
- ⑥ 新型コロナウイルス濃厚接触者

3. 会場内での感染防止対策のお願い

- 会場内では不織布マスクをご着用ください。また、マスクは会場内のごみ箱には捨てず、お持ち帰りいただくようお願いいたします。
- 来場時に入口での検温をお願いいたします。
- 受付前、各会場前に手指消毒剤を設置しておりますので、こまめな手洗い、手指消毒、咳エチケットの徹底をお願いいたします。
- 各会場内では座席間隔を保つように、ご着席ください。
- 会場内で食事をする場合は、黙食をお願いいたします。
- 受付や各会場入口など人が密集する場所では間隔を空けてお並びください。

※上記を遵守いただけない場合、個別にお声がけさせていただくことがございます。

※各会場では収容人数の制限を行っております。制限に達した場合には入場できないことがありますことを予めご了承ください。

4. 濃厚接触通知サービスの利用のお願い

- 厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)」にご登録ください。

Google play



App Store



5. 学会終了後

- 各自健康チェックを行っていただくとともに、学会終了後(1週間以内)に感染者と診断された場合には、学会事務局までご連絡ください。

上記の感染対策に関して、行政当局や会場から新たな感染対策の指針が発表された場合は、それに基づき、必要な対策を実施いたします。

学術集会に参加される方へのご案内

I. 開催形式

第48回学術集会は、会場参加、オンラインのライブ配信、オンデマンド配信で開催いたします。

会 期：2022年8月27日(土)～28日(日)

オンデマンド配信は、10月7日(金)までですが、開始日はコンテンツにより異なるため、日程表をご確認ください。

II. 会場参加される方へ

【受付・案内】

1. 受 付

場 所：松山市総合コミュニティセンター

受付時間：8月27日(土)8時30分～16時

8月28日(日)8時30分～14時30分

2. 総合案内

場 所：松山市総合コミュニティセンター 1階コミュニティプラザ

【参加登録と参加証】

1. 一次参加登録をされた方

- 一次参加登録をされ参加費をご入金された方には、8月上旬を目途に、ご登録いただいた住所に参加証(領収書付)を送付しますので、当日受付は不要です。ただし、感染防止対策のひとつとして会場参加をしたかどうかの確認をするため、参加証の「現地参加券」を当日会場にて切り離し、ネームホルダー設置所付近に設置している投函箱に入れてください。
- 参加証は、会場内で必ずご着用ください。1階コミュニティプラザ正面出入口付近に、ネームホルダーを準備しておりますのでご利用ください。
- 参加証を着用していない方は、会場へのご入場ができません。参加証を当日お忘れになった場合には、1階コミュニティプラザの「総合案内」にお申し出ください。
- 現地にてオンライン視聴される方は、WEB 視聴用 ID/PW を事前に運営事務局よりメールいたしますので、忘れずにメモやメールを保管しご持参ください。

2. 当日受付をされる方

- 1階コミュニティプラザ「当日受付」にて参加登録をしてください。
- 当日参加登録用紙に必要事項(会員の方は会員番号を含む)をご記入後、参加費をお支払いいただき、参加証(領収書付き)とWEB 視聴用 ID/PW(用紙)をお受け取りください。お支払いは、現金のみとなります。
- 参加証は、会場内で必ずご着用ください。1階コミュニティプラザ「記名所」にネームホルダーを準備しておりますのでご利用ください。
- 当日の参加費は下記の通りとなっております。学生の方は、学生証のご提示をお願いいたし

ます。学生証がない場合は、学生としての参加登録はできかねますので、ご了承ください。

会 員：12,000 円

非 会 員：14,000 円

学 生： 3,000 円

※学生には、大学院生および看護師資格を有する研修学校生を含みません。

【講演集】

- ・講演・一般演題等の抄録は、本学術集会のホームページから「WEB 視聴ページ」にアクセスし、WEB 視聴用 ID/PW をご入力いただくとご覧いただけます。
- ・紙媒体の講演集が必要な方は、1階コミュニティプラザ「講演集販売」にて一部2,000 円で販売しておりますので、ご利用ください。

【会場内の Wi-Fi 環境について】

- ・フリー Wi-Fi が利用できる範囲は、1階コミュニティプラザ受付周辺のみです。ただし、アクセスが重なる場合には、通信環境が悪くなることがありますので、ご了承ください。
- ・抄録は事前にダウンロード、保存して参加されることをお勧めします。

【クローク】

- ・本会場にはクロークを準備しておりますのでご利用ください。貴重品につきましては、各自でお持ちください。クロークの場所とお預かり時間は以下のとおりです。

8月27日(土) 1階コミュニティプラザ 8時30分～18時

8月28日(日) 1階コミュニティプラザ 8時30分～16時30分

【打合せ室】

- ・打合せや休憩用に下記の場所を設置しておりますのでご利用ください。
なお、ご利用後は原状復帰をお願いいたします。

打合せ室：2階 第3会議室

【昼食会場】

8月27日(土)	8月28日(日)
第1会場：12時15分～13時 (総会に出席される会員の方のみ)	第1会場：12時～12時40分
第2会場：12時15分～13時	第2会場：12時～12時30分
第4会場：12時10分～12時45分	第4会場：11時45分～12時45分
キャメリアホールロビー(1階・2階)	

※黙食の徹底にご協力いただきますようお願いいたします。

【書道パフォーマンス】

- ・書道パフォーマンス発祥の地である愛媛県立三島高等学校の高校生による書道パフォーマンスがあります。高校生の熱いパフォーマンスを是非、ご覧ください。

8月28日(日) 12:00～12:30 1階コミュニティプラザ

【弁当等販売】

- ・会場周辺には飲食店が少ないため、第1会場キャメリアホール入口付近で社会福祉事業所等によるお弁当を数量限定で販売しております。是非、ご利用ください。

販売時間：11時30分～13時30分

弁当ごみ回収時間：15時まで(弁当販売デスクにて回収)

【救護室】

- ・救護室を準備しています。必要時は学会スタッフにお申し出ください。

【災害発生時】

- ・災害発生時は各会場のスタッフの指示に従ってください。
- ・会場では非常口や避難経路をご確認ください。
- ・避難時にはエレベーターは使用しないでください。

【会場利用についてのお願い】

- ・会場内での各講演および一般演題(口演)に対して、事務局からの許可のない写真撮影、録音・録画は固くお断りいたします。
- ・会場内では携帯電話をマナーモードに設定し、周りの方のご迷惑にならないようにご配慮をお願いいたします。
- ・松山市総合コミュニティセンターは、一般市民も利用しますので、周囲へのご配慮をお願いします。
- ・会場敷地内は全面禁煙とさせていただきます。
- ・会場内での呼び出しは、原則として対応できません。何かございましたら、1階コミュニティプラザ「総合案内」までお越しください。

【協力企業の展示】

- ・各協力企業による展示を松山市総合コミュニティセンター1階、2階にて行います。是非、お立ち寄りください。

【懇親会】

- ・今回は、開催はありません。

【その他】

- ・本学会では、コンベンション開催支援助成金を申請しています。助成金交付条件として、愛媛県外の皆様が、愛媛県内の宿泊施設に一定数以上宿泊されていることを証明する必要があります。そのため、参加登録時の氏名等の情報を助成金申請のために利用させていただきますことをご了承ください。

Ⅲ. オンライン参加の方へ

【参加登録と参加証（領収書付）】

1. 一次参加登録（7月22日までの登録）された方

- 一次参加登録をされ参加費をご入金された方には、8月上旬を目途に、ご登録いただいた住所に参加証（領収証付）を送付いたします。
- WEB 視聴用 ID/PW は、事前にメール配信いたしますので、WEB 視聴ページに ID/PW ご入力の上、学会に参加をしてください。

2. 二次参加登録（8月8日～8月20日までの登録）された方

- 二次参加登録をされ参加費をご入金された方には、WEB 視聴用 ID/PW を事前にメール配信いたしますので、WEB 視聴ページに ID/PW ご入力の上、学会に参加をしてください。
- 参加証（領収証付）は、学会終了後、登録いただいた住所に送付いたします。

【講演集】

- 講演、一般演題等の抄録は、本学術集会のホームページから WEB 視聴ページに WEB 視聴用 ID/PW ご入力の上、ご覧いただけます。紙媒体の講演集が必要な方は、学会事務局にご連絡ください。一部2,000円＋送料で販売いたします。

【オンラインアクセス方法】

1. 留意・禁止事項

- 参加費をお支払いいただいた方のみ、WEB 視聴ページにご入場いただけます。
- ご入場いただいた方の画面を複数の方が一緒に視聴することはできません。また、ID/PW を他の方と共有して使用することもできません。
- 学術集会は学会会員の皆様の会費と、ご参加いただく皆様の参加費、並びに協賛企業等からのご支援により運営されております。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。
- 本学術集会のオンライン会場において掲載されているすべての内容の著作権は、著作者（発表者）に帰属いたします。
- 著作権法および関連法律、条約により、私的使用など明示的に認められる範囲を超えて、オンライン会場内の掲載内容（文章、画像、映像、音声など）の一部およびすべてについて、事前の許諾なく無断で複製、転載、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、著作権侵害となり、法的に罰せられることがあります。
- 著作権者からの許可無く、録画、録音、キャプチャ、スクリーンショットしたり、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

2. LIVE 配信（第1会場・第2会場）への参加について

- Web 会議サービス「Zoom」を利用して開催します。お使いの端末（PC、タブレット、スマートフォン）に、あらかじめ専用のアプリケーションソフトウェアのインストールが必要です。Zoom 公式ホームページ (<https://zoom.us/download>) より「ミーティング用 Zoom クライアント」をダウンロードしてインストールしてください。

- ご参加される方は、WEB 視聴ページに ID/PW をご入力いただき、ページ内にある会場名をクリックしご入室ください。別の会場を視聴する場合は、現在のお部屋から退室し、別会場でご入室ください。LIVE 配信は第1会場・第2会場のみとなります。
Zoom ご入場の際はご自身のお名前をご入力ください。
- 各会場の定員は1,000名です。定員に達するとご入室できません。随時入退室が可能です。Zoom のウェビナー形式で行われます。
- ご質問がある場合は、Zoom の画面下方にある「Q & A 機能」を使ってご質問を文字でご入力ください。座長が質問を採択し、発表者にお答えいただきます。質問多数の場合は、時間内に回答できないことがあることを、あらかじめご了承ください。

3. オンデマンド配信の視聴について

- オンデマンドで配信されるコンテンツについては、WEB 視聴用 ID/PW にて、ログインいただき視聴可能です。ご希望の発表を検索しご覧ください。
- 質疑応答については、「コメント」欄(チャット式)を利用して行います。発表データ下部の「コメント」欄に質問等を入力して【コメントを送信】ボタンを押すと、質問コメントが反映されます。その質問コメントに対して演者が回答を入力した場合に、チャット形式のように「コメント」欄に回答が反映されます。コメントの表示は、最新の5つのコメントが表示されます。過去のコメントを見たい場合は「過去のコメントを見る」ボタンを押すと閲覧可能となります。
ただし、演者からの回答は任意ですので、ご了承ください。

Ⅳ. 演者および座長の方へ

【会長講演／特別講演／教育講演／シンポジウム／リレートーク／市民公開講座／看護薬理学セミナー】

1. 演者の方

1) ご講演データの作成について

- ・発表で使用する PC の OS は、「Windows10」、使用可能なアプリケーションソフトは「Windows 版 PowerPoint2019」です。なお、Power Point 最新版(2021)を利用された場合、一部アニメーション等に不具合を生じることもありますので、予めご了承ください。
- ・会場の PC の出力解像度は、フル HD (1920 × 1080) です。
- ・発表データのフォントは Windows 標準フォントをご使用ください。
- ・発表時の画面操作はご自身でお願いいたします。

2) 利益相反 (COI) の開示について

- ・本学会では、利益相反の開示をお願いしております。

「日本看護研究学会第48回学術集会開示すべき利益相反事項と基準について」

<https://www.jsnr48.com/participant.html> をご確認の上、発表内容に関係し、演題発表者全員(筆頭演者、共同演者)の過去3年間における COI 状態にある企業、組織や団体があれば、発表時に使用する媒体に明記してください。

発表時、演題名の次のスライド(2枚目)に利益相反開示事項スライドを以下の URL からダウンロードして挿入してください。

(開示すべき COI 状態がない場合)：

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.jsnr48.com%2Fimages%2Fnon-coi.pptx&wdOrigin=BROWSELINK>

(開示すべき COI 状態がある場合)：

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.jsnr48.com%2Fimages%2Fcoi.pptx&wdOrigin=BROWSELINK>

3) 受 付

- ・各プログラムの開始1 時間前までに、1階コミュニティプラザ「座長・演者受付」にお越しください。係が2階「PC 受付」にご案内いたします。「PC 受付」の担当者と、発表データの動作確認を行ってください。
- ・発表データは USB メモリに保存しご持参ください。その他のメディアでは受付できませんのでご了承ください。
- ・発表データのファイル名は『講演の種類_(半角アンダーバー)発表者氏名を漢字とカタカナ(全角)』としてください。
例) 特別講演の「松山愛子」さんの場合：[特別講演_松山愛子マツヤマアイコ]
- ・お預かりした発表データは、本学術集会終了後に事務局が責任をもって消去いたします。
- ・ご講演中の PC の画面操作は、演者ご自身でお願いいたします。
- ・事前にご案内をしている打合せ開始時間になりましたら、控室にて座長(シンポジウム・リレートークの場合は他の演者の方含む)との打合せをお願いいたします。
- ・控室へは係がご案内いたしますので、「座長・演者受付」にお越しください。
- ・オンライン参加の方には別途、ご連絡致します。

2. 座長の方

- 各プログラムの開始1時間前までに、1階コミュニティプラザ「座長・演者受付」にて受付をお済ませください。
- 事前にお知らせしております時間に、控室にて演者との打合せをお願いいたします。
- オンライン参加の方には別途、ご連絡致します。

【一般演題(口演)】

1. 口演発表される方

- 本学会では、原則現地発表ですが、事前登録していただいた発表データは、急遽、コロナウイルス感染等により現地発表ができなくなった場合、およびオンデマンド配信に利用させていただきます。

1) 現地発表データの作成

- 発表で使用する PC の OS は、「Windows10」、使用可能なアプリケーションソフトは「Windows 版 PowerPoint2019」です。なお、Power Point 最新版(2021)を利用された場合、一部アニメーション等に不具合を生じることもありますので、予めご了承ください。
- 会場の PC の出力解像度は、フル HD (1920 × 1080) です。
- 発表データのフォントは Windows 標準フォントをご使用ください。
- 発表時の画面操作はご自身でお願いいたします。

2) 利益相反 (COI) の開示について

- 本学会では、利益相反の開示をお願いしております。

「日本看護研究学会第48回学術集会開示すべき利益相反事項と基準について」

<https://www.jsnr48.com/images/jsnr48-coi.pdf> をご確認の上、発表内容に関係し、演題発表者全員(筆頭演者、共同演者)の過去3年間における COI 状態にある企業、組織や団体があれば、発表時に使用する媒体に明記してください。

発表時、演題名の次のスライド(2枚目)に利益相反開示事項スライドを以下の URL からダウンロードして挿入してください。

(開示すべき COI 状態がない場合)：

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.jsnr48.com%2Fimages%2Fnon-coi.pptx&wdOrigin=BROWSELINK>

(開示すべき COI 状態がある場合)：

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.jsnr48.com%2Fimages%2Fcoi.pptx&wdOrigin=BROWSELINK>

3) 現地参加時の発表データの受付

- 発表データの受付は、発表1時間前までに2階「PC 受付」にて手続きをお願いします。
- 発表データを USB メモリに保存しご持参ください。その他のメディアでは受付できませんのでご了承ください。
- 発表データのファイル名は『演題番号(半角)_ (半角アンダーバー)発表者氏名を漢字とカタカナ(全角)』としてください。

例)口演・発表番号477の「松山愛子」さんの場合 [477_松山愛子マツヤマアイコ]

- 発表データは、本学術集会で用意した PC に保存します。保存後「PC 受付」の担当者と、動作確認を行ってください。なお、お預かりした発表データは、本学術集会終了後に事務局が責任をもって消去いたします。

4) 現地発表

- ご自身の口演群開始時刻 10 分前までに、次演者席にご着席ください。
- 1 演題 10 分間（発表 7 分間、質疑応答 3 分間）です。
- 時間厳守でお願いいたします。
- 時間の経過は、口演終了 1 分前に黄色ランプ、終了時に赤ランプでお知らせいたします。
- プログラムの進行は、座長の指示に従ってください。
- 急遽、現地に来られなくなった場合は、事前登録していただいた発表データを放映します。必ず、ご連絡ください。

5) オンデマンド配信

- 事前登録していただいた発表データをオンデマンドで配信します。
- 質疑応答については、「コメント」欄（チャット式）を利用して行います。コメントに対する回答は、任意にしていますので、ご自身の判断でお願いします。
発表に対する質問があれば、発表データ下部の「コメント」欄に、質問コメントが反映されます。質問コメントを確認後、その質問コメントに対する回答をご自身で入力してください。入力後、「コメントを送信」ボタンを押すと、チャット形式のように「コメント」欄に回答が反映されます。コメントの表示は、最新の 5 つのコメントが表示されます。過去のコメントを見たい場合は「過去のコメントを見る」ボタンを押すと閲覧可能となります。

【ポスター発表される方】

- 発表は、事前にデータ登録していただきました e-ポスターによるオンデマンド配信です。
- 質疑応答については、「コメント」欄（チャット式）を利用して行います。コメントに対する回答は、任意にしていますので、ご自身の判断でお願いします。
発表に対する質問があれば、発表データ下部の「コメント」欄に、質問コメントが反映されます。質問コメントを確認後、その質問コメントに対する回答をご自身で入力してください。入力後、「コメントを送信」ボタンを押すと、チャット形式のように「コメント」欄に回答が反映されます。コメントの表示は、最新の 5 つのコメントが表示されます。過去のコメントを見たい場合は「過去のコメントを見る」ボタンを押すと閲覧可能となります。

2. 一般演題（口演）の座長の方

- ご担当の口演群開始時刻 30 分前までに、1 階コミュニティプラザ「座長・演者受付」にて受付をお済ませください。
- ご担当の口演群の開始時刻 10 分前までに会場にお入りいただき、次座長席にご着席ください。
- 前の口演群の終了後、ご登壇いただき、座長席にご着席の上、開始時刻になりましたら、進行を開始してください。
- 1 演題 10 分間（発表 7 分間、質疑応答 3 分間）です。
- 時間の経過は、口演終了 1 分前に黄色ランプ、終了時に赤ランプでお知らせいたします。
- 各群が時間内に終了するようにご配慮ください。

- ・演者の欠席事前連絡（感染状況等の理由にて）があった場合は、事前に送付していただいている発表録画データを放映します。その場合、質疑応答はありません。放映に関する操作は会場担当者が行います。
- ・事前連絡がなく、演者が会場に来ていない場合は、次の発表を繰り上げて進行してください。
- ・演者の欠席および会場に来ていない場合の連絡は、群の開始前に、会場担当者からお伝えします。
- ・セッションが予定よりも早く終了した場合でも、次の群の開始は前倒しせず、予定時刻通りに開始いたします。
- ・現地に来られなくなった場合は、至急ご連絡ください。

【交流集会／委員会企画】

1. 受 付

- ・交流集会および委員会企画の代表者は、各プログラム開始30分前までに、1階コミュニティプラザ「座長・演者受付」にて受付をお済ませください。
- ・PCを使用される場合、発表データの受付は、開始1時間前までに2階「PC受付」にて手続きをお済ませください。
- ・オンライン参加の方には別途ご連絡致します。

2. 運 営

- ・交流集会会場の机・椅子等の配置変更や復元および講演中の画面操作等は、会場担当者の指示のもと、ご自身でお願いいたします。
- ・会場内の復元、参加者の退室を時間内に終了いただきますよう、お願いいたします。
- ・第1会場・第2会場は、Zoom ウェビナーにてライブ配信をします。
セッションの開始時刻20分前に必ず入室してください。
学術集会オペレータと企画者との間で通信状況、音声、画像等の確認を行います。パワーポイント画面共有を試行する場合は、この時間の間に行ってください。
各会場の進行係が総合進行はしますが、時間になりましたら企画者が進行して、セッションを開始してください。

3. 利益相反（COI）の開示について

- ・交流集会および委員会企画についても、発表に際して利益相反（COI）の開示が必要です。
「日本看護研究学会第48回学術集会開示すべき利益相反事項と基準について」
<https://www.jsnr48.com/images/jsnr48-coi.pdf> をご確認ください。発表内容に関係し、演題発表者全員（筆頭演者、共同演者）の過去3年間におけるCOI状態にある企業、組織や団体があれば、発表時に使用する媒体に明記してください。

- ・発表時、演題名の次のスライド（2枚目）に利益相反開示事項スライドを以下のURLからダウンロードして挿入してください。

（開示すべきCOI状態がない場合）：

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.jsnr48.com%2Fimages%2Fnon-coi.pptx&wdOrigin=BROWSELINK>

（開示すべきCOI状態がある場合）：

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.jsnr48.com%2Fimages%2Fcoi.pptx&wdOrigin=BROWSELINK>

V. 資格認定・更新時の申請について

- 本学会への参加ならびに発表につきましては、公益社団法人日本看護協会の専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等として申請が可能です。手続きには、本学術集会の参加証と領収書が必要です。保管してください。詳細は、公益社団法人日本看護協会のホームページを御覧ください。その他の資格につきましては、各認定団体へお問い合わせください。

VI. プログラム集について

- 日本看護研究学会員には学術集会参加の有無にかかわらず、全員に学会員の特典として印刷したプログラム集を学会本部から送付しています。非学会員の方は、日本看護研究学会第48回学術集会 HP (<https://www.jsnr48.com/>) のプログラム・日程表および発表演題をご確認ください。

交通のご案内

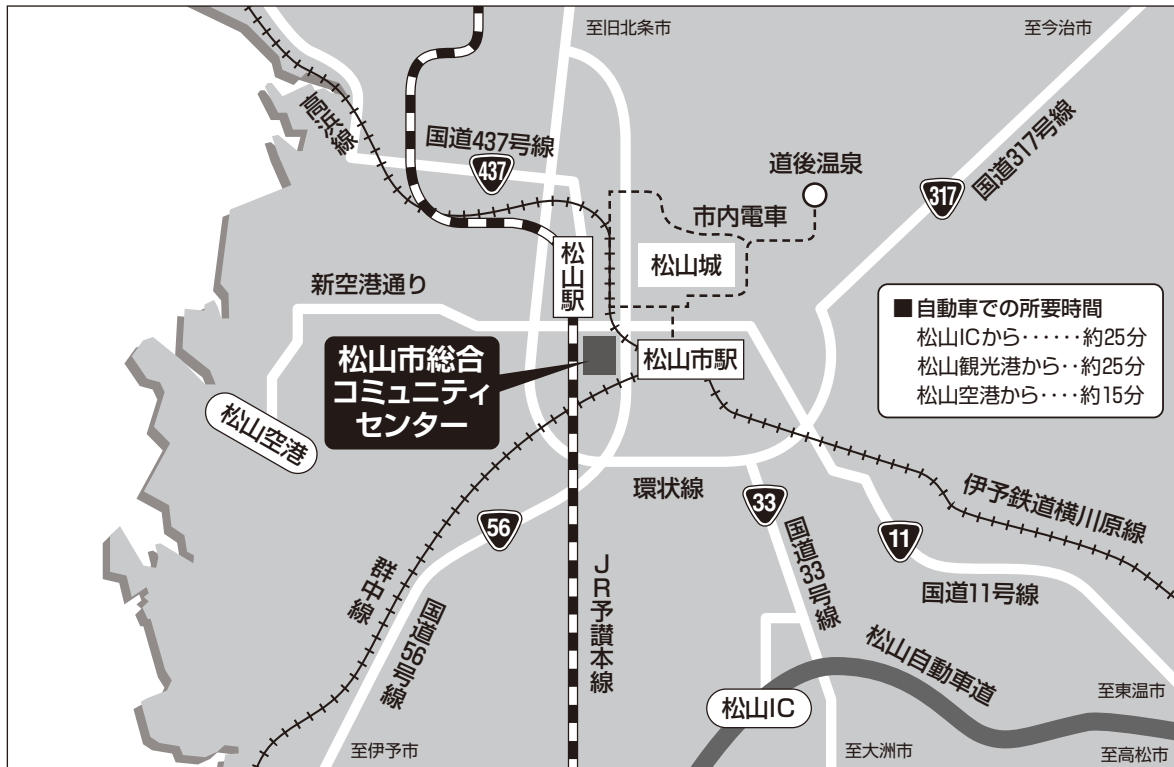
会 場：松山市総合コミュニティセンター

松山市湊町七丁目5番地 TEL089-921-8222

<https://www.cul-spo.or.jp/comcen/>



■アクセスMAP



■周辺詳細地図



周辺アクセス

- JR松山駅から ●徒歩 約10分
 - 伊予鉄バス（久米駅前行）
 - ➔ 松山コミュニティセンター前で下車（所要時間約2分）
- 松山市駅から ●徒歩 約10分
 - 伊予鉄バス（JR松山駅前行もしくは津田団地前行）
 - ➔ 松山コミュニティセンター前で下車（所要時間約3分）
- 大手町駅（伊予鉄 高浜線）から ●徒歩 約7分

車でご来場の方

※駐車場は会場内にありますが、駐車できる台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

体育館地下駐車場（東駐車場）、企画展示ホール駐車場（西駐車場）どちらも有料です。

詳しくは以下のページをご参照ください。

松山市総合コミュニティセンター <https://www.cul-spo.or.jp/comcen/access>



飛行機でお越しの方

■ 松山空港～松山市内中心部

松山空港から、JR松山駅・伊予鉄松山市駅・大街道・道後温泉まで、直通の空港リムジンバス（伊予鉄）があります。

ただし、新型コロナウイルスの影響に伴う松山空港発着便の減便に鑑み、リムジンバスも減便される場合があるので、ご確認ください。

- ・JR松山駅まで：所要時間 約15分 650円（R4年8月運賃改定）
- ・松山市駅まで：所要時間 約25分 730円（R4年8月運賃改定）
- ・道後温泉駅前まで：所要時間 約40分 880円（R4年8月運賃改定）

松山空港リムジンバスのご案内（伊予鉄バス）

<https://www.iyotetsu.co.jp/bus/limousine/airport/>



船でお越しの方

■ 松山観光港～松山市内中心部

松山観光港から、JR松山駅・伊予鉄松山市駅・大街道・道後温泉まで、直通の松山観光港リムジンバス（伊予鉄）があります。

- ・JR松山駅まで：所要時間 約20分 780円（R4年8月運賃改定）
- ・松山市駅まで：所要時間 約35分 860円（R4年8月運賃改定）
- ・大街道まで：所要時間 約40分 910円（R4年8月運賃改定）
- ・道後温泉駅前まで：所要時間 約50分 1,010円（R4年8月運賃改定）

松山観光港リムジンバスのご案内（伊予鉄バス）

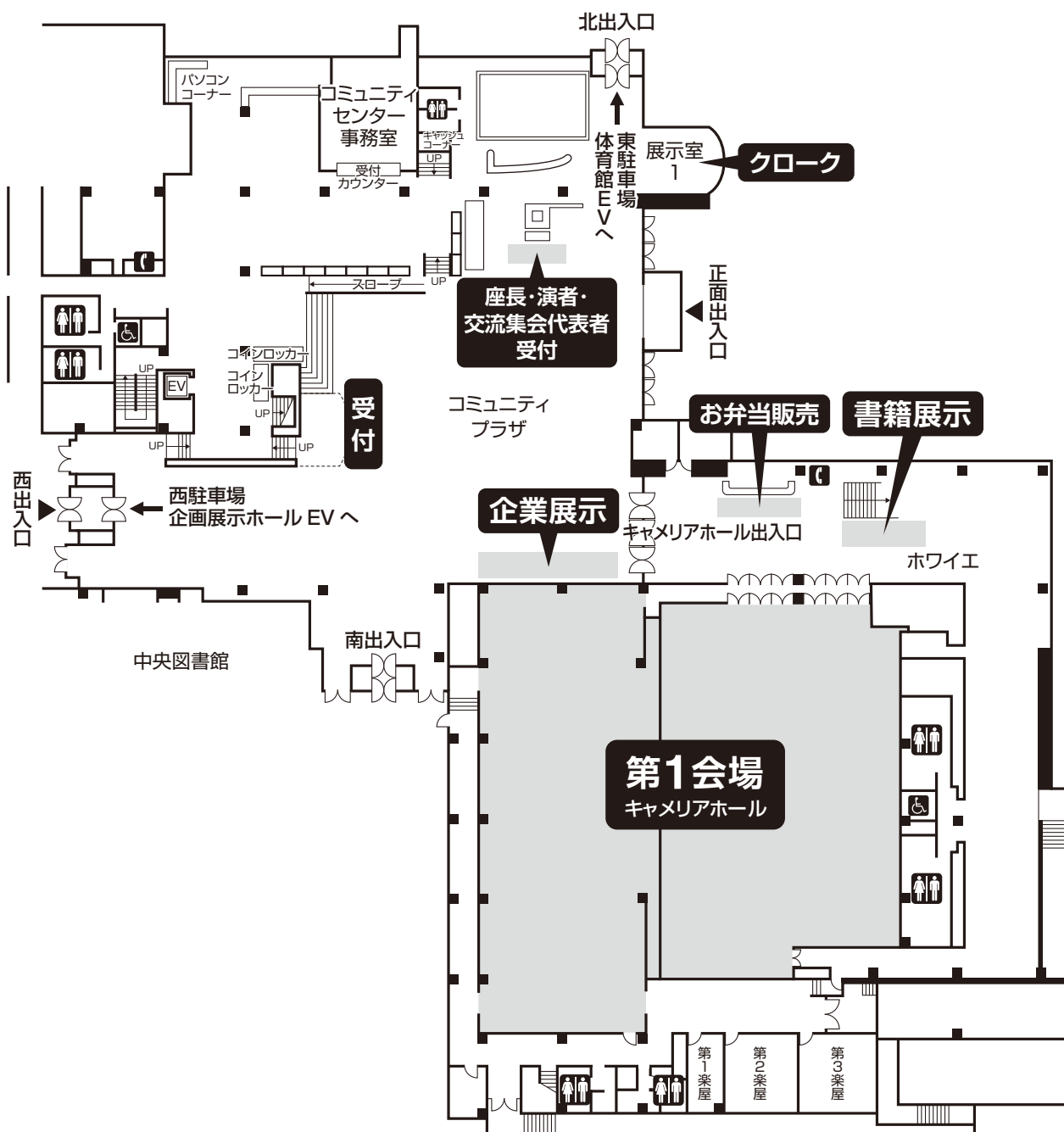
<https://www.iyotetsu.co.jp/bus/limousine/port/>



会場案内図

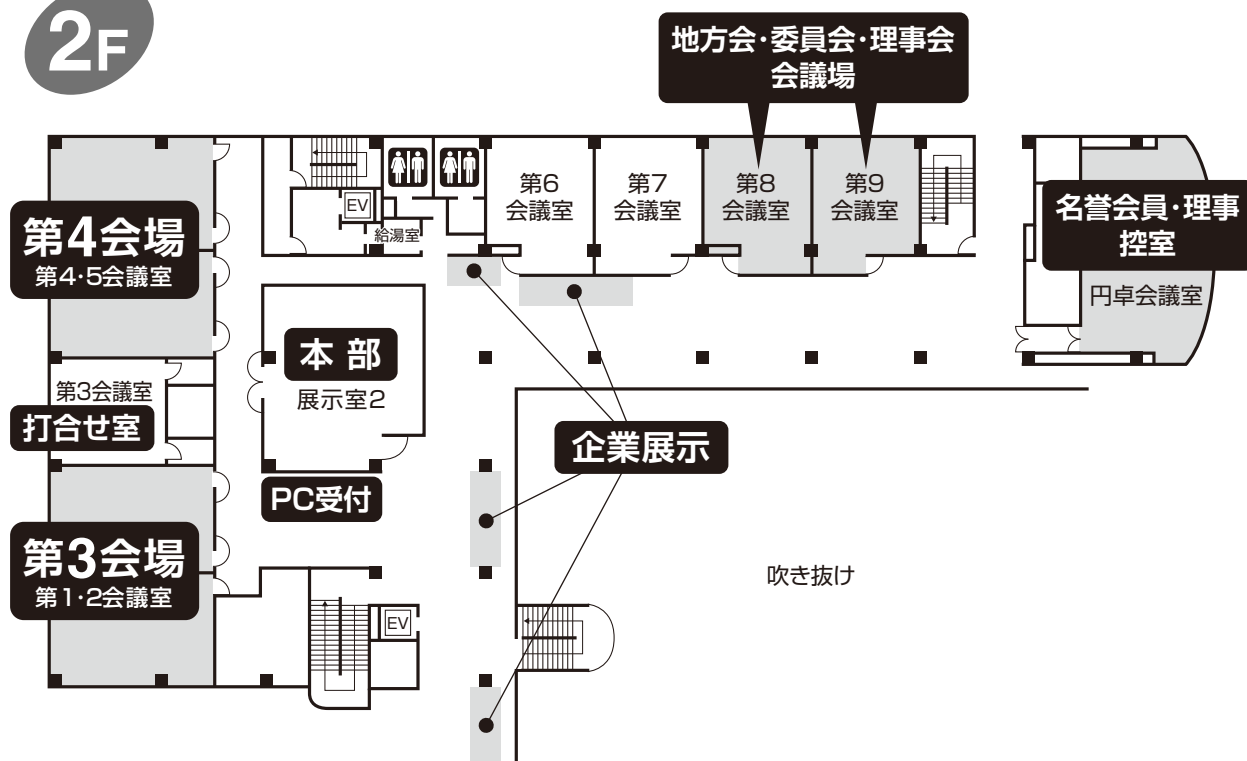
■ 研修会議棟

1F

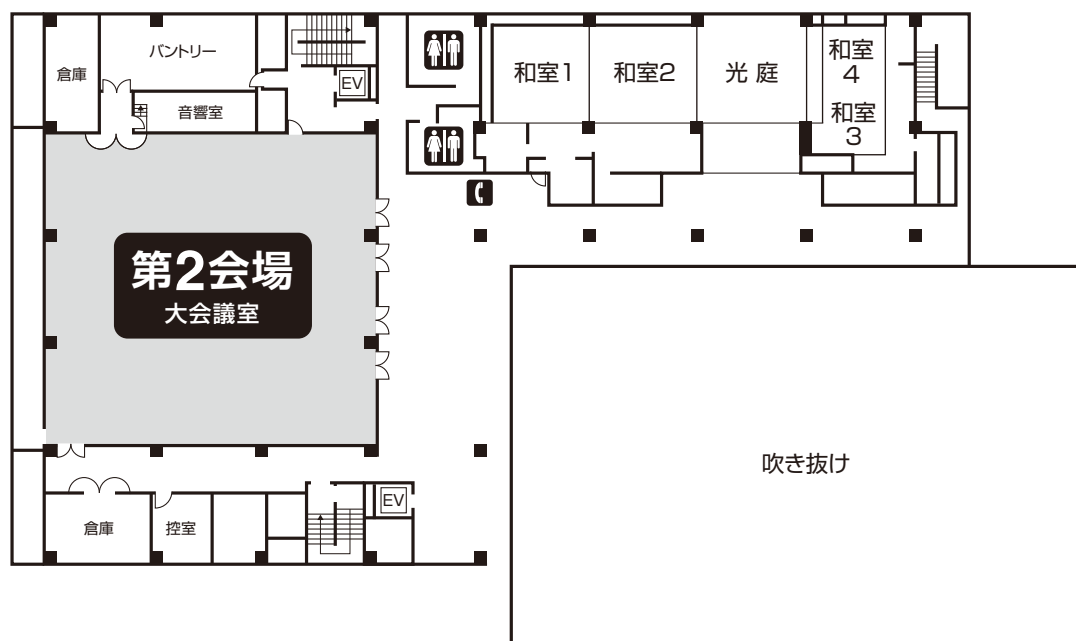


■ 研修会議棟

2F



3F



1日目 8月27日(土)

ライブ配信

録画上映

動画再生

第1会場 1F キャンペリアホール		第2会場 3F 大会議室	第3会場 2F 第1・2会議室	第4会場 2F 第4・5会議室	e-ポスター オンデマンド 配信のみ 8月27日～ 10月7日
現地会場 + LIVE配信(zoomウェビナー)			現地会場のみ		
LIVE録画の配信 9月15日～10月7日		当日zoom配信のみ (録画配信なし)	一般演題口演：現地発表(zoom無し) と事前提出の動画配信		8月29日～ 10月7日
9:00	9:00～9:15 開 会 式				e-ポ ス タ ー オンデマンド配信期間 8月27日(土)～10月7日(金)
	9:20～9:50 会長講演 看護の知を紡ぐ： 実践と研究の往還で一步先へ 中西 純子				
10:00	10:00～11:00 特別講演 子規・病牀六尺の世界と チーム・ケア 竹田 美喜	9:50～10:50 交流集会 1 “家族システムユニットの 三元理論”の提唱と家族 スピリチュアリティ支援へ のトランスレーション	9:50～10:50 委員会企画1： 実践研究活動 推進ワーキング 仲間と研究をつなごう！	9:50～10:50 口 演 5 看護教育①(基礎教育)	
11:00	11:10～12:10 教育講演 I 臨床現場から看護実践の知 を創り出す事例研究 山本 則子	11:10～12:10 交流集会 2 ナーシング・ナレッジ未来へ 新しい看護の在り方を遠隔 医療／技術より模索する Beyond Nightingale	11:10～12:10 交流集会 5 精神看護学実習の 記録方法を一緒に 語ろう・学ぼう	11:00～12:00 口 演 6 看護教育②(基礎教育)	
12:00	12:20～13:00 総会・表彰式・ 次回学術集會会長挨拶				
13:00	13:20～14:50 シンポジウム 実践や研究における事例／ 症例の価値・意義 酒向 正春 相模 健人 雑賀 正彦	13:20～14:20 交流集会 3 看護学実習で獲得する 看護実践能力と教育設計 の検討～実習前後のPROG の縦横断的調査による獲得 能力の分析から～	13:00～14:00 口 演 1 老年看護	13:00～14:00 口 演 7 基礎看護・看護技術	
14:00		14:40～15:40 交流集会 4 低位前方切除術後症候群 (LARS:Low Anterior Resection Syndrome) を知っていますか？	14:10～15:10 口 演 2 在宅看護・がん看護	14:10～15:10 口 演 8 看護管理① (病院管理・医療安全) 感染看護	
15:00	15:10～16:10 教育講演 II 異文化の地に分け入る フィールドリサーチ —ヴァヌアツ共和国の 無医村・無文字社会にて— 内藤 真帆	16:00～17:00 看護薬理学セミナー 高齢者の薬物治療の 注意点 茂木 正樹 共催：日本薬理学会	15:20～16:20 口 演 3 急性期・慢性期・ 終末期看護	15:20～16:20 口 演 9 看護管理② (新人教育・その他)	
16:00	16:20～17:20 委員会企画2： 看護保険連合ワーキング 障がい児プロジェクト 医療的ケア児と家族を支える 多職種チームのあり方と課題		16:30～17:20 口 演 4 小児看護・母性看護・ 家族看護	16:30～17:30 口 演 10 公衆衛生看護・ 健康増進・予防看護・ 災害看護	
17:00		17:20～18:20 委員会企画3： 看護保険連合ワーキング 高齢者への安全な 医療・看護提供プロジェクト 身体拘束の最小化につながる 急性期病院での取り組み —診療報酬改定に向けて—			
18:00					

2日目 8月28日(日)

ライブ配信

録画上映

動画再生

第1会場 1F キャンペリアホール 現地会場 + LIVE配信(zoomウェビナー)		第2会場 3F 大会議室	第3会場 2F 第1・2会議室 現地会場のみ	第4会場 2F 第4・5会議室 現地会場のみ	e-ポスター オンデマンド 配信のみ 8月27日～ 10月7日
LIVE録画の配信 9月15日～10月7日		当日zoom配信のみ (録画配信なし)	一般演題口演：現地発表(zoom無し) と事前提出の動画配信		8月29日～ 10月7日
9:00	9:00～10:00 教育講演Ⅲ 看護学における多変量解析 による現象の解明へのアプ ローチ 中山 和弘				e-ポ ス タ ー オンデマンド配信期間 8月27日(土)～10月7日(金)
10:00		9:30～10:30 委員会企画4: 編集委員会 看護学の新たな知の構築 受理される論文執筆のた めに何が必要か	9:30～10:30 交流集会 9 アセスメント能力育成に 対する効果的な看護 過程の教授方法につ いての検討	9:30～10:30 口演 13 看護教育③(基礎教育)	
11:00	10:20～11:50 リレートーク 語り合おう! 看護の知と看護実践 西谷 恵 吉田 美由紀 重見 美代子	10:50～11:50 交流集会 6 長期的な療養を要する人 への看護を思考する授業 方略～感覚機能障害をも つ当事者の語りを活用した グループワーク演習～	10:50～11:50 交流集会 10 急性期実習における 学生自己評価と教員評 価における差の要因 の検討	10:40～11:40 口演 14 看護教育④(継続教育)	
12:00					
13:00	13:00～14:00 委員会企画5: 国際活動推進委員会 Becoming an author: An introduction to writing to publish for Japanese nurses	13:00～14:00 交流集会 7 DXの時代に、新・看護 実習サポートシステム CanGo 5.0の果たす役割	13:00～14:00 口演 11 精神看護①	13:00～14:00 口演 15 看護教育⑤(その他)	
14:00					
15:00	14:30～15:30 市民公開講座 人類とウイルスの共存 —我々はウイルスと どう向き合うべきか— 安川 正貴	14:20～15:20 交流集会 8 遠隔看護技術を活用した 地域中心型医療の実践 に向けて～研究成果を実 践に“紡ぐ”ために～	14:10～15:10 口演 12 精神看護②・ リハビリ看護	14:30～15:30 Nursing talk & talk 伝えます、看護の魅力! (中学生向け企画) 共催：愛媛県看護協会	
16:00	15:40～15:50 閉会式				

プログラム

会場：松山市総合コミュニティセンター

第1日目 8月27日(土)

9:00～9:15 開会式 第1会場(キャメリアホール 1F)

9:20～9:50 会長講演 第1会場(キャメリアホール 1F)

座長：塩飽 仁(東北大学大学院医学系研究科)

看護の知を紡ぐ：実践と研究の往還で一歩先へ

中西 純子(愛媛県立医療技術大学 保健科学部 教授)

9:50～10:50 交流集会1 第2会場(大会議室 3F)

“家族システムユニットの三元理論”の提唱と 家族スピリチュアリティ支援へのトランスレーション

発表者：法橋 尚宏(神戸大学大学院保健学研究科)

渡邊 幹生(神戸大学大学院保健学研究科)

島田 なつき(兵庫県立大学 看護学部)

伊藤 咲季(国立病院機構東京医療センター 看護部)

西元 康世(四天王寺大学 看護学部 看護学科)

平谷 優子(大阪公立大学大学院看護学研究科)

9:50～10:50 委員会企画1 第3会場(第1・2会議室 2F)

実践研究活動推進ワーキング 仲間と研究をつなごう！

若村 智子(京都大学大学院医学研究科)

深井 喜代子(東京慈恵会医科大学)

浅野 みどり(名古屋大学大学院)

佐藤 正美(東京慈恵会医科大学)

前田 ひとみ(熊本大学大学院)

9:50～17:30 一般演題 口演 第3会場(第1・2会議室 2F), 第4会場(第4・5会議室 2F)

10:00～11:00 **特別講演**

第1会場(キャメリアホール 1F)

座長：中西 純子(愛媛県立医療技術大学 保健科学部)

子規・病牀六尺の世界とチーム・ケア

竹田 美喜(松山市立子規記念博物館 総館長)

11:10～12:10 **教育講演Ⅰ**

第1会場(キャメリアホール 1F)

座長：越智 百枝(愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科)

臨床現場から看護実践の知を創り出す事例研究

山本 則子(東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 教授)

11:10～12:10 **交流集会2**

第2会場(大会議室 3F)

ナースング・ナレッジ未来へ

新しい看護の在り方を遠隔医療／技術より模索する Beyond Nightingale

発表者：餅田 敬司(京都橘大学 看護学部 看護学科)

上妻 裕弥(株式会社ビジケア 代表取締役)

森口 真吾(株式会社 T-ICU 執行役員 集中ケア認定看護師)

野島 敬祐(京都橘大学 看護学部 看護学科)

中村 真也(ブライトライフ株式会社 代表取締役)

11:10～12:10 **交流集会5**

第3会場(第1・2会議室 2F)

精神看護学実習の記録方法を一緒に語ろう・学ぼう

発表者：荒井 春生(京都光華女子大学 健康科学部 看護学科)

座長：野本 百合子(愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科)
陶山 啓子(愛媛大学大学院医学系研究科 看護学専攻)

実践や研究における事例／症例の価値・意義

シンポジスト：酒向 正春(ねりま健育会病院 病院長)
相模 健人(愛媛大学 教育学部 教授)
雑賀 正彦(聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科 助教)

看護学実習で獲得する看護実践能力と教育設計の検討 ～実習前後のPROGの縦横断的調査による獲得能力の分析から～

発表者：西蘭 貞子(奈良学園大学)
江川 隆子(関西看護医療大学)
箕浦 洋子(関西看護医療大学)
赤澤 千春(大阪医科薬科大学)

低位前方切除術後症候群(LARS; Low Anterior Resection Syndrome)を 知っていますか？

発表者：佐藤 正美(東京慈恵会医科大学)
深井 喜代子(東京慈恵会医科大学)
松原 康美(北里大学)
今泉 郷子(東海大学)
岡田 みどり(川崎医療短期大学)
谷山 牧(国際医療福祉大学)
三宅 映子(川崎医療短期大学)
幸田 圭史(帝京大学ちば総合医療センター)
榎本 浩也(東京慈恵会医科大学附属第三病院)
江川 安紀子(東京慈恵会医科大学附属病院)
荒木 しのぶ(川崎医科大学附属病院)
柳 朝子(国立がん研究センター中央病院)

座長：豊田 ゆかり(愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科)

**異文化の地に分け入るフィールドリサーチ
ーヴァヌアツ共和国の無医村・無文字社会にてー**

内藤 真帆(東北大学大学院文学研究科・文学部 総合人間学専攻 心理言語人間学講座 言語学分野 准教授)

座長：讃井 真理(人間環境大学 松山看護学部)

高齢者の薬物治療の注意点

茂木 正樹(愛媛大学大学院医学系研究科 薬理学講座 教授)

**看護保険連合ワーキング 障がい児プロジェクト
医療的ケア児と家族を支える多職種チームのあり方と課題**

泊 祐子(関西福祉大学大学院)

竹村 淳子(大阪医科薬科大学)

岡田 摩理(日本赤十字豊田看護大学)

市川 百香里(岐阜県重症心身障害総合支援センターみらい)

遠渡 絹代(岐阜協立大学)

部谷 知佐恵(岐阜県立長良特別支援学校)

赤羽根 章子(岐阜大学)

濱田 裕子(第一薬科大学)

**看護保険連合ワーキング 高齢者への安全な医療・看護提供プロジェクト
身体拘束の最小化につながる急性期病院での取り組み
ー診療報酬改定に向けてー**

叶谷 由佳(横浜市立大学)

南崎 真綾(横浜市立大学)

土肥 真奈(横浜市立大学)

佐々木 晶世(横浜市立大学)

丸山 幸恵(横浜市立大学)

金田 明子(横浜市立大学)

星 美鈴(神奈川県立保健福祉大学)

第2日目 8月28日(日)

9:00～10:00

教育講演Ⅲ

第1会場(キャメリアホール 1F)

座長：篠崎 恵美子(人間環境大学 看護学部)

看護学における多変量解析による現象の解明へのアプローチ

中山 和弘(聖路加国際大学大学院看護学研究科 看護情報学分野 教授)

9:30～10:30

委員会企画4

第2会場(大会議室 3F)

編集委員会

看護学の新たな知の構築：受理される論文執筆のために何が必要か

法橋 尚宏(神戸大学大学院保健学研究科 看護学領域)

吉永 尚紀(宮崎大学 医学部 看護学科)

今井 多樹子(日本赤十字広島看護大学 看護学部 看護学科)

深井 喜代子(東京慈恵会医科大学)

9:30～10:30

交流集会9

第3会場(第1・2会議室 2F)

**アセスメント能力育成に対する効果的な看護過程の
教授方法についての検討**

発表者：山住 康恵(共立女子大学 看護学部)

櫻井 美奈(共立女子大学 看護学部)

松本 里加(共立女子大学 看護学部)

中原 るり子(共立女子大学 看護学部)

9:30～15:10

一般演題 口演

第3会場(第1・2会議室 2F), 第4会場(第4・5会議室 2F)

10:20～11:50

リレートーク

第1会場(キャメリアホール 1F)

座長：西田 佳世(聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 看護学科)

酒井 淳子(愛媛県立中央病院)

語り合おう！看護の知と看護実践

講師：西谷 恵(愛媛県立中央病院 緩和ケア認定看護師)

吉田 美由紀(愛媛大学大学院医学系研究科 看護学専攻 助教/地域看護専門看護師)

重見 美代子(医療法人朝陽会 美須賀病院 総師長)

**長期的な療養を要する人への看護を思考する授業方略
～感覚機能障害をもつ当事者の語りを活用したグループワーク演習～**

発表者：佐藤 幹代(自治医科大学 看護学部)
長谷川 直人(自治医科大学 看護学部)
村上 礼子(自治医科大学 看護学部)
古島 幸江(自治医科大学 看護学部)
渡邊 賢治(自治医科大学 看護学部)
遠藤 香奈(自治医科大学 看護学部)

急性期実習における学生自己評価と教員評価における差の要因の検討

発表者：中野 元(城西国際大学 看護学部)
四十竹 美千代(城西国際大学 看護学部)
池上 萌絵(城西国際大学 看護学部)

愛媛県立三島高等学校 書道部**国際活動推進委員会****Becoming an author: An introduction to writing to publish for Japanese nurses****著者になるということ：日本人看護師に向けた英語論文発表のための文章入門**

中平 みわ(京都光華女子大学 健康科学部 看護学科)
若村 智子(京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻)
岡 美智代(群馬大学大学院保健学研究科)
中本 五鈴(京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 博士後期課程)

DXの時代に、新・看護実習サポートシステム CanGo 5.0の果たす役割

発表者：真嶋 由貴恵(大阪公立大学情報学研究科)
中村 裕美子(大阪公立大学看護システム先端技術研究所)
杣木 佐知子(大阪医科薬科大学 看護学部)
小池 武嗣(聖隷クリストファー大学 看護学部 看護学科)

**遠隔看護技術を活用した地域中心型医療の実践に向けて
～研究成果を実践に“紡ぐ”ために～**

発表者：高橋 道明(医療創生大学 国際看護学部)
葛西 好美(医療創生大学 国際看護学部)
伊藤 嘉章(医療創生大学 国際看護学部)
川口 孝泰(医療創生大学 国際看護学部)

座長：中西 純子(愛媛県立医療技術大学 保健科学部)

**人類とウイルスの共存
—我々はウイルスとどう向き合うべきか—**

安川 正貴(愛媛県立医療技術大学 学長)

進行役：徳永 なみじ(愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科)

[中学生向け企画]

伝えます，看護の魅力！

講師：仲田 由美(愛媛県立中央病院 看護師)
大本 真祐子(愛媛県立中央病院 助産師)
高山 美波(松山赤十字病院 助産師)
薬師寺 由季(宇和島市役所 保健師)
挨拶：小椋 史香(愛媛県看護協会会長)

一般演題プログラム

一般演題・口演 第1日目 8月27日(土)

13:00～14:00 口演1

第3会場(第1・2会議室 2F)

[老年看護]

座長：沖中 由美(国立大学法人岡山大学学術研究院保健学域)

01-1 回復過程にある入院患者のアドバンス・ケア・プランニングに対する 関心や思いを支える看護実践

○武山 裕美子, 庄司 正枝, 遠藤 千恵, 菊池 美咲
医療法人社団健育会 石巻健育会病院

01-2 骨折により床上安静となった高齢者の意欲低下と入院前の生活機能や 社会との関わりの関連

○太田 幸枝¹⁾, 古賀 明美²⁾, 武富 由美子²⁾, 川久保 愛²⁾
1)一般財団法人医療・介護・教育研究財団 柳川病院, 2)佐賀大学 医学部 看護学科

01-3 地域包括ケア病棟看護師における高齢者の生活を支える看護実践のプロセス

○荒井 葉子¹⁾, 實金 栄²⁾, 原田 雅義¹⁾³⁾, 名越 恵美²⁾
1)岡山県立大学 保健福祉学研究科 博士後期課程 保健福祉科学専攻, 2)岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科,
3)四条畷学園大学 看護学部 看護学科

01-4 高齢医療従事者のワーク・エンゲイジメントに影響をあたえる要因 —高齢労働者の主観的健康感を中心に—

○西山 里枝
聖カトリナ大学 人間健康福祉学部 看護学科

01-5 認知症サポーター養成講座受講前後の大学生のエイジズムの実態

○大津山 優葵, 塚本 都子, 山本 君子
東京純心大学

14:10～15:10 口演2

第3会場(第1・2会議室 2F)

[在宅看護・がん看護]

座長：柳澤 理子(愛知県立大学)

02-1 男性訪問看護師が訪問看護ステーションで勤務を続ける理由 —訪問看護ステーション管理者のインタビューから—

○堂脇 かおり
元 京都府立医科大学大学院保健看護学研究科 博士前期課程

02-2 訪問看護師の臨床判断を支える看護支援システムの検討

○葛西 好美, 高橋 道明, 伊藤 嘉章, 川口 孝泰
医療創生大学 国際看護学部

02-3 終末期がん患者の在宅移行期での退院前カンファレンスにおける 退院調整看護師と訪問看護師の協働のあり方の検討

○金崎 美穂¹⁾, 尾形 由起子²⁾, 山下 清香²⁾, 小野 順子²⁾, 中村 美穂子²⁾
1)福岡女学院看護大学 看護学部, 2)福岡県立大学 看護学部

**O2-4 薬物療法を受けるがん患者のレジリエンスへの影響要因分析：
65歳以上と65歳未満の比較**

○児玉 みゆき¹⁾，新坂 ともみ²⁾，野末 明希¹⁾，内田 倫子¹⁾，竹山 ゆみ子¹⁾，金岡 麻希¹⁾，
木下 由美子¹⁾

1) 宮崎大学 医学部 看護学科，2) 宮崎大学医学部附属病院

O2-5 看護師によるがん薬物療法中患者の心配把握状況 ―患者の就業状況別の分析―

○川崎 麻美¹⁾，新坂 ともみ²⁾，高橋 裕子¹⁾，野末 明希³⁾，児玉 みゆき³⁾，内田 倫子³⁾，
竹山 ゆみ子³⁾，金岡 麻希³⁾，柳田 俊彦⁴⁾，木下 由美子³⁾

1) 宮崎県立日南病院，2) 宮崎大学医学部附属病院，

3) 宮崎大学 医学部 看護学科 総合臨床看護科学講座 成人老年看護学領域，

4) 宮崎大学 医学部 看護学科 総合臨床看護科学講座 臨床薬理

15:20～16:20

口演3

第3会場(第1・2会議室 2F)

[急性期・慢性期・終末期看護]

座長：黒田 寿美恵(県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科看護学コース)

O3-1 術前外来・術前訪問を通した手術室看護師による術前看護の明確化

○加納 朋美¹⁾，白尾 久美子²⁾，大野 晶子²⁾

1) 日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第一病院，2) 日本福祉大学 看護学部 看護学科

O3-2 プレホスピタルケアに従事する看護師のSOCと関連要因

○山田 春奈，古賀 明美，川久保 愛，武富 由美子

佐賀大学 医学部 看護学科 生涯発達看護学講座

O3-3 就労している腹膜透析療養者における透析導入後の現状への認識

○田口 博子，江尻 晴美，山本 司

中部大学 生命健康科学部 保健看護学科

O3-4 禁煙外来に携わる看護職の禁煙支援に関する実態調査

○高橋 博子，中西 純子，鳥居 順子，田中 昭子

愛媛県立医療技術大学 保健科学部

O3-5 人生の終焉を生きる場の選択におけるがん終末期高齢患者と家族の合意に向けた看護実践

○三原 綾¹⁾²⁾，真継 和子²⁾

1) ハートコール訪問看護ステーション，2) 大阪医科薬科大学 看護学部

一般社団法人 日本看護研究学会 第48回学術集会

講演要旨

会 長 講 演

看護の知を紡ぐ：実践と研究の往還で一步先へ

中西 純子

愛媛県立医療技術大学 保健科学部 教授

座長：塩飽 仁（東北大学大学院医学系研究科）

8月27日（土） 9：20～9：50

第1会場（キャメリアホール 1F）

看護の知を紡ぐ：実践と研究の往還で一步先へ

中西 純子

愛媛県立医療技術大学 保健科学部 教授

最良のケアを看護の対象者に届けようと努力することは看護職の志向性であり使命でもある。このことは、看護職の倫理綱領第9条（看護職は多職種で協働し、看護及び医療の受け手である人々に対して最善を尽くすこと、より質の高い保健・医療・福祉の提供を目指すことを共通の価値とする。）にも掲げられており、また、日常的にも、“これで良かったのだろうか。もっと他に良いケアはなかったのだろうか。”と内省する看護職は少なくないと思われる。では、どのようにすれば最良のケアは対象者に届けることができるのだろうか。

科学的根拠にもとづき医療やケア提供の意思決定を行うプロセスを EBP (Evidence-based Practice) または EBI (Evidence-based Intervention) といい、“Evidence-based” であることは専門職が行う実践として必要不可欠な要件と言える。最良のケアを対象者に届けるための要件を考えると、第一に、ケアの根拠となるエビデンスが高いレベルで創出されていることが大前提となる。しかしながら、介入の効果を検証する研究デザインとして高いレベルに位置づけられる RCT (ランダム化比較試験) による研究は、看護においては、倫理的問題からも実施が困難な場合が多く、また、現象の解明を目的とした質的研究にも転用可能性に限界のある研究が多いなどの課題がある。

次に、量的研究にしろ、質的研究にしろ、高いエビデンスレベルの研究結果がそこにあるとしたら、実践に移す段階の要件が必要になる。研究によるエビデンスが、必ずしも臨床現場で実践されていない状態をエビデンス・プラクティスギャップといい、近年、このギャップをうめるべく、研究成果を、臨床現場や実際の政策の改善などにつなげるにはどうすればよいのか科学的に研究する「実装研究」あるいは「実装科学」が注目されている。EBI の実装に影響しうる要因について示した CFIR* (Consolidated Framework for Implementation Research) には、その一つの領域に個人特性（介入についての知識や信念、自己効力感など）が挙げられている。ケア提供者がそのエビデンスを使おうと意思決定し、内容を正確に理解・修得し、対象に合わせてそのエビデンスを使う能力を備えていることが求められる。そのためには、ケア提供者への教育やサポートが必要になる。

研究と実践の往還が繰り返されながら螺旋状に進んでいく先に、最良のケア提供や看護学の発展があることに疑念の余地はないところであるが、研究成果を正しく理解し、正しく使う、つまり実装の段階にまで推し進めるためには、教育／啓発の役割が重要になると考える。その考えのもと、本講演では、自身の研究過程の反省的経験や教員として学生や臨床看護師に看護の知を橋渡ししてきた経験を振り返り、“一步先へ”の糸口を見出したい。

* 内富庸介（監修）、今村晴彦、島津太一（監訳）、『実装研究のための統合フレームワーク—CFIR—』、保健医療福祉における普及と実装科学研究会、2021 [ISBN : 978-4-9911-886-0-2]

一般社団法人 日本看護研究学会 第48回学術集会

一般演題

(口演)

8月27日(土)

01-1 回復過程にある入院患者のアドバンス・ケア・プランニングに対する関心や思いを支える看護実践

○武山 裕美子, 庄司 正枝, 遠藤 千恵, 菊池 美咲
医療法人社団健育会 石巻健育会病院

【目的】アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning 以下, ACP)は, 健康な時期や慢性疾患を持ちながら生活する時期に介入を考えることが重要であると言われている。回復過程にある入院患者の ACP に対する関心や思いはどうなっているのかを抽出し, 看護実践への示唆を得る。

【方法】

1. 研究デザイン: 質的研究
2. 研究期間: 2021 年 4 月~9 月
3. 研究対象者: A 病院地域包括ケア病床, 回復期リハビリテーション病棟の入院患者
4. データ収集方法:
 - 1) 調査内容: 基本属性・医療処置の有無・FIM など。
 - 2) 半構造化インタビュー(ACP という言葉は知っているか, 誰かに意思表示をしたことはあるか等)を実施, 言葉が分からない場合は説明し内容は録音する。
5. データ分析方法: インタビュー内容は逐語録化しカテゴリーに分類し分析。
6. 倫理的配慮: A 病院倫理委員会での承認と対象者には書面で同意を得た。利益相反はない。

【結果】インタビューは対象者 10 名に実施し全員に ACP の説明を行った。以下 10 のカテゴリーを抽出した。「① ACP という言葉はわからない, ②もしもの時のことを考えている, ③もしもの時のことは考えていない, ④大切な人へ思いを伝達している, ⑤大切な人へ思いを伝達していない, ⑥大切な人へ自分の今後を任せたい思いと負担をかけたくない思いがある, ⑦今後の自分の身体や生活への不安がある, ⑧ ACP について話し合う際の医療スタッフは頼れる, ⑨入院中に ACP を話題にすることは大切である, ⑩自分の人生は自分で決めたい」相反するカテゴリー②と③に着目, ②のサブカテゴリーには「余生について具体的に考えている」等があり③には「先のことは考えられない」等があった。

【考察】対象者への説明で ACP の理解は得られ, ⑥⑦⑨のカテゴリーからは前向きな関心や周囲への気遣いが推察された。回復過程の患者は, 慢性疾患を持ちながら生活する時期の人々であり, ⑨⑩のカテゴリーから入院が ACP を考える動機付けにつながると推察された。⑧のカテゴリーから医療スタッフへの期待があり, 看護師には患者の思いをくみ取る役割があると考え。③のカテゴリーの人は, 将来像への具体的なイメージを抱いていなかったと考える。

01-2 骨折により床上安静となった高齢者の意欲低下と入院前の生活機能や社会との関わりの関連

○太田 幸枝¹⁾, 古賀 明美²⁾, 武富 由美子²⁾, 川久保 愛²⁾
1) 一般財団法人医療・介護・教育研究財団 柳川病院,
2) 佐賀大学 医学部 看護学科

【目的】骨折により床上安静となった高齢者の意欲低下と入院前の生活機能や社会との関わりの関連を明らかにする。

【方法】令和2年9月1日より令和3年8月10日に, 脊椎圧迫骨折および大腿骨骨折により床上安静となった65歳以上の高齢者を対象に, 歩行訓練開始後1週間以内に入院中の意欲(やる気スコア), 個人特性, 入院前の生活機能(歩行状態, 老研式活動能力指標), 社会との関わり(閉じこもり, 社会的孤立の有無)を質問紙にて調査した。意欲の評価はやる気スコア16点以上を「意欲低下あり」とし, 意欲低下の有無による各変数の比較には Wilcoxon 順位検定, X^2 検定及び Fisher の正確確率検定を用い, 有意水準は5%未満とした。佐賀大学医学部倫理審査委員会(R2-11)と調査施設の承認を得て実施した。

【結果】対象者89名中, 同意不可9名, 転科・転院4名, 途中拒否1名, 不備4名を除く71名(有効回答率88.8%)が分析対象者となった。分析対象者は, 平均 82.3 ± 7.1 歳, 女性60名(84.5%)であった。やる気スコアは平均 16.8 ± 8.7 点で, 対象者の57.7%が「意欲低下あり」であった。「意欲低下あり」群は入院前の歩行補助具使用の割合が有意に高く($P=.007$), 老研式活動能力指標の得点が有意に低かった($P<.001$)。また, 入院前の社会的孤立ありの割合が有意に高く($P=.005$), 閉じこもりには有意な差はなかった。個人特性では, 女性, 生活習慣病ありの意欲低下している割合が高かった($P=.044$, $P=.031$)。さらに, 「意欲低下あり」群は「意欲低下なし」群に比べ Hb, T-Cho が有意に低く($P=.047$, $P=.020$), 入院から歩行開始までの期間($P=.005$)が長かった。

【考察】入院中の意欲低下を認めた対象者では, 入院前の歩行状態や活動能力といった生活機能が低い対象者が多かったこと, 社会的孤立がある対象者が多かったことから, 他者の介助がなければ同居者以外との交流が維持できない状態にあった者が入院中の意欲低下をきたしやすい可能性が示唆された。また, 栄養状態や生活習慣病の有無, 入院から歩行訓練開始までの期間が長いことが入院中の意欲低下につながる可能性がある。

一般社団法人 日本看護研究学会 第48回学術集会

一般演題 (示 説)

e-ポスター配信期間

8月27日(土)～10月7日(金)

P-001 健康な成人女性への 継続的なタクティール[®]ケアの効果

○上原 佳子, 長谷川 智子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭,
出村 佳美
福井大学学術研究院医学系部門看護学領域

【目的】健康な成人女性への継続的なタクティール[®]ケア（以下、タクティールケア）の効果を検証する。

【方法】

- 1) 対象：A 県内の健康な成人女性24名（ 31.2 ± 11.1 歳）。
- 2) 実験期間：令和2年7月～12月。
- 3) 調査項目：
 - (1) 内分泌系指標：唾液中オキシトシン、唾液中コルチゾール。
 - (2) 心理的指標：状態不安・特性不安（新版 STAI）。
- 4) 実験方法：同一対象者に一定条件下において、別々の日に安静座位20分間の「安静」条件を1回、手のタクティールケアを20分間行う「タクティール」条件を12回（3～4回/週、1ヶ月程度）行った。「安静」、タクティールケア1回目「タクティール1」、6回目「タクティール6」、12回目「タクティール12」は同時刻に実施し、実施前後に唾液採取と質問紙調査を行った。タクティールケアは（株）日本スウェーデン福祉研究所の認定を受けた同一研究者が全て実施した。
- 5) 分析方法：「安静」と各「タクティール」における、指標の実施前後の比較を、対応のあるノンパラメトリック検定にて行った。
- 6) 倫理的配慮：対象者に、目的、参加の自由意志、個人情報保護等を説明し、同意書にて同意を得て、その内容を厳守した。研究は福井大学医学系研究倫理審査委員会・福井大学臨床研究利益相反審査委員会の承認を得た。

【結果】オキシトシンでは、前後の比較で「安静」は有意差がなく、「タクティール」はすべて有意に増加した。コルチゾールでは、前後の比較で「安静」は有意に低下、「タクティール6」は有意に増加した。状態不安では前後の比較ですべてにおいて有意に低下した。特性不安では前後の比較で「安静」は有意差がなく、「タクティール」はすべてで有意に低下した。

【考察】健康な成人女性への継続的なタクティールケアの効果として、安静座位よりもオキシトシンの分泌を促進し、特性不安を低下させることが考えられる。

*本研究は、福井大学学術研究院医学系部門安倍博教授のご協力と、科学研究費（基盤研究（C）18K10187）の助成のもと実施した。本研究における利益相反は存在しない。

P-002 用手微振動における 筋硬度と皮膚血流量への影響

○東 真理¹⁾, 赤澤 千春²⁾
1) 天理医療大学 医療学部, 2) 大阪医科薬科大学

【目的】本研究の目的は、用手微振動の効果を科学的に検証するために、健康成人を対象に用手微振動の前後で、筋硬度、皮膚血流量に及ぼす影響を調査した。

【方法】20代から50代の適格基準に応じた対象者30名（男性8名、女性22名）の背部に対して、約9Hzの振動と約94 mmHgの圧での用手微振動を30秒間実施した。実施前の安静時をベースラインとしてコントロール群に設定し、用手微振動を30秒実施した後を介入群に設定した。前後で筋硬度、皮膚血流量、血圧、脈拍を比較検討した。用手微振動を実施する看護師は日常的に患者に実施している看護師を選定した。筋硬度計はNEUTONE TDM-N1、皮膚血流量はレーザー（組織）血流計オメガフローを用いた。本研究は、研究者らが所属する大学の研究倫理委員会の承認を得て実施した。

【結果】用手微振動を30秒間実施した部位の筋硬度は、実施前（平均±標準偏差） 30.45 ± 5.05 ポイントに対し、実施後は 29.54 ± 5.04 ポイントに低下した。対応のあるt検定で有意な差を認めた（ $p=0.019$ ）。皮膚血流量は、実施前は（中央値（四分位偏差）、単位 ml/min/100g） $0.76 (0.07)$ に対し、実施後は $0.86 (0.07)$ に上昇した。Wilcoxon rank test で有意な差を認めた（ $p=0.000$ ）。循環動態は、SBP・DBP・HRで確認した。実施前（平均±標準偏差、単位 mmHg、以下同じ）SBP 108.6 ± 14.8 は、実施後 105.7 ± 15.0 に低下し、実施前のDBPは 65.6 ± 11.1 に対し、実施後は 62.7 ± 11.8 に低下した。HR（平均±標準偏差） 71.6 ± 10.3 回/分に対し、実施後は 69.2 ± 11.7 回/分に低下した。循環動態の指標すべてにおいて有意な差を認めた（ $p < 0.05$ ）。

【考察】今回の用手微振動は非常に弱い振動と低圧（約9Hz、約94mmHg）であるが、30秒という短時間でも筋硬度を低下させ、筋の伸張性を促進する可能性が示唆された。また皮膚血流量が増加傾向を示したことから弱い振動でも、血管拡張が起こり血流量増加の可能性が示唆された。用手微振動を行った局所の変化と血圧と脈拍が低下する傾向との関連については、今後自律神経系やその他の指標を含めて検討する余地がある。



日本看護研究学会 第48回学術集会

事務局

愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科 内

〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地

運営事務局

株式会社 歳時記屋

〒780-0072 高知県高知市杉井流19番2号

TEL: 088-882-0333 FAX: 088-882-0322